

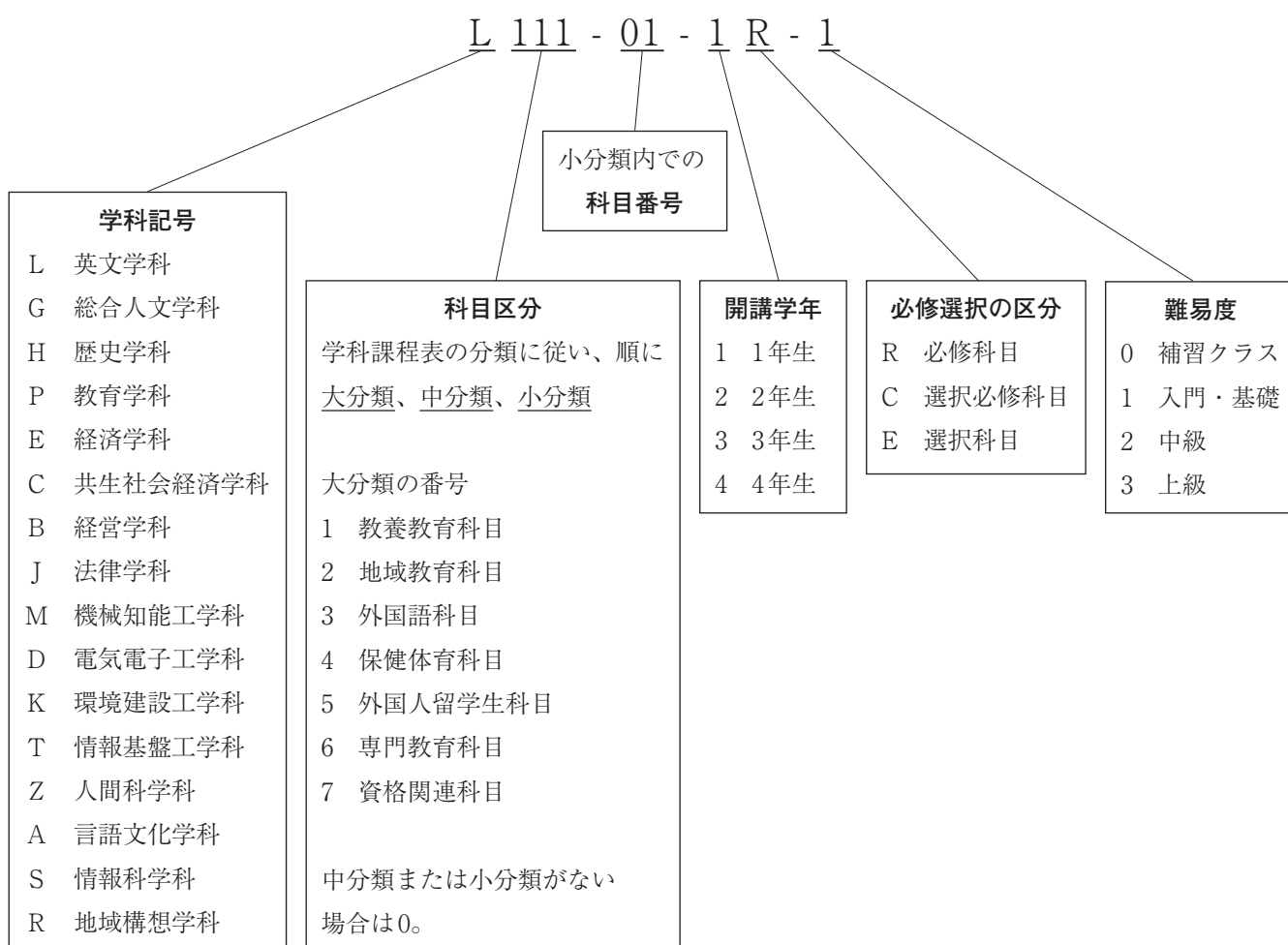
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
H111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
H111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
H111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
H111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
H111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
H111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
H111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
H111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
H111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
H111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
H112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
H112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
H112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
H112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
H112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
H112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
H112-07-2R-1	読解・作文の技法		◎			
H112-08-2R-1	研究・発表の技法		◎			
H120-01-1E-1	哲学		○	◎		
H120-02-1E-1	芸術論		○	◎		
H120-03-1E-1	歴史学		○	◎		
H120-04-1E-1	心理学		○	◎		
H120-05-1E-1	基礎社会学		○	◎		
H120-06-1E-1	基礎経済学		○	◎		
H120-07-1E-1	法学		○	◎		
H120-08-1E-1	日本国憲法		○	◎		
H120-09-2E-1	環境の科学		○	◎		
H120-10-2E-1	自然の科学		○	◎		
H120-11-2E-1	倫理学		○	◎		
H120-12-2E-1	文学		○	◎		
H120-13-1E-1	文化人類学		○	◎		
H120-14-1E-1	現代の政治		○	◎		
H120-15-2E-1	社会福祉論		○	◎		
H120-16-2E-1	東北地域論		○	◎		
H120-17-2E-1	先端の科学と技術		○	◎		
H120-18-2E-1	情報リテラシー		○	◎		
H120-19-2E-1	基礎地理学		○	◎		
H200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
H200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
H200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
H200-04-3E-2	地域課題演習					◎
H310-01-1C-1	英語 I A (文獻読解)		◎	○		
H310-02-1C-1	英語 I A (日常英語)		◎	○		
H310-03-1C-1	英語 I A (英会話)		◎	○		
H310-04-1C-1	英語 I B (文獻読解)		◎	○		
H310-05-1C-1	英語 I B (日常英語)		◎	○		
H310-06-1C-1	英語 I B (英会話)		◎	○		
H310-07-2C-2	英語 II A (文獻読解)		◎	○		
H310-08-2C-2	英語 II A (日常英語)		◎	○		
H310-09-2C-2	英語 II A (英会話)		◎	○		
H310-10-2C-2	英語 II B (文獻読解)		◎	○		
H310-11-2C-2	英語 II B (日常英語)		◎	○		
H310-12-2C-2	英語 II B (英会話)		◎	○		
H320-01-1C-1	ドイツ語 I A		◎	○		
H320-02-1C-1	フランス語 I A		◎	○		
H320-03-1C-1	中国語 I A		◎	○		
H320-04-1C-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○		
H320-05-1C-1	ドイツ語 I B		◎	○		
H320-06-1C-1	フランス語 I B		◎	○		
H320-07-1C-1	中国語 I B		◎	○		
H320-08-1C-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○		
H320-09-2E-2	ドイツ語 II A		◎	○		
H320-10-2E-2	フランス語 II A		◎	○		
H320-11-2E-2	中国語 II A		◎	○		
H320-12-2E-2	韓国・朝鮮語 II A		◎	○		
H320-13-2E-2	ドイツ語 II B		◎	○		
H320-14-2E-2	フランス語 II B		◎	○		
H320-15-2E-2	中国語 II B		◎	○		
H320-16-2E-2	韓国・朝鮮語 II B		◎	○		
H400-01-1E-1	体育講義			◎		
H400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
H510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
H510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
H510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
H520-01-1E-1	日本語 I		◎	○		
H520-02-2E-2	日本語 II		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学における基本的知識、またそれぞれの研究分野に固有の思考方法についての概要を説明することができる	歴史学、考古学、民俗学に関する専門性の高い学術論文を読解するとともに、主体的に史・資料を収集し、それをふまえた柔軟な発想と論理的思考、説得力のある表現を用いて、学術的な文章を作成することができる	歴史学、考古学、民俗学の知識や思考方法をもとに課題を発見し、現代社会が直面するさまざまな問題について、史・資料をふまえた発言や議論、解決方法を提示することができる	現代社会の歴史的な成り立ちをおさえつつ、国際的な広い視野をもって今日の地域社会とそれをめぐる問題について理解し、自らが何をすべきかを考え、社会に貢献することができる	実習や史料調査などの経験を通して、自らの特性を活かしつつ共同作業に対して主体的に関与していく中で、真摯な態度と地道な努力を継続する力を持つとともに、共通の課題に対してチームで成果を出すことができる
H610-01-1C-1	日本史概説 I	◎			○	
H610-02-1C-1	日本史概説 II	◎			○	
H610-03-1C-1	アジア史概説 I	◎			○	
H610-04-1C-1	アジア史概説 II	◎			○	
H610-05-1C-1	ヨーロッパ史概説 I	◎			○	
H610-06-1C-1	ヨーロッパ史概説 II	◎			○	
H610-07-1C-1	考古学概説 I	◎			○	
H610-08-1C-1	考古学概説 II	◎			○	
H610-09-1C-1	民俗学概説 I	◎			○	
H610-10-1C-1	民俗学概説 II	◎			○	
H610-11-3C-2	日本史総合演習 I		◎	○		
H610-12-3C-2	アジア史総合演習 I		◎	○		
H610-13-3C-2	ヨーロッパ史総合演習 I			○		
H610-14-3C-2	考古学総合演習 I		◎	○		
H610-15-3C-2	民俗学総合演習 I		◎	○		
H610-16-3C-2	日本史総合演習 II		◎	○		
H610-17-3C-2	アジア史総合演習 II		◎	○		
H610-18-3C-2	ヨーロッパ史総合演習 II		◎	○		
H610-19-3C-2	考古学総合演習 II		◎	○		
H610-20-3C-2	民俗学総合演習 II		◎	○		
H610-21-4C-3	日本史論文演習 I		◎	○		
H610-22-4C-3	アジア史論文演習 I		◎	○		
H610-23-4C-3	ヨーロッパ史論文演習 I		◎	○		
H610-24-4C-3	考古学論文演習 I		◎	○		
H610-25-4C-3	民俗学論文演習 I		◎	○		
H610-26-4C-3	日本史論文演習 II		◎	○		
H610-27-4C-3	アジア史論文演習 II		◎	○		
H610-28-4C-3	ヨーロッパ史論文演習 II		◎	○		
H610-29-4C-3	考古学論文演習 II		◎	○		
H610-30-4C-3	民俗学論文演習 II		◎	○		
H620-01-2E-2	歴史の中の東北	◎			○	
H620-02-2E-2	ヨーロッパ近現代の国家と社会	◎			○	
H620-03-2E-2	江戸から明治へ	◎			○	
H620-04-2E-2	アジアにおける国家の誕生	◎			○	
H620-05-2E-2	伝統アジアの社会と文化	◎			○	
H620-06-2E-2	イスラーム世界の形成と展開	◎			○	
H620-07-2E-2	文化遺産と現代社会	◎			○	
H620-08-3E-2	近現代日本と東アジア	◎			○	
H620-09-3E-2	ヨーロッパ中近世社会史	◎			○	
H620-10-3E-2	アジアの王権と思想	◎			○	
H630-01-2E-1	古文書学 I	◎		○		
H630-02-2E-1	古文書学 II	◎		○		
H630-03-2E-1	アジア史基礎講読 I	◎		○		
H630-04-2E-1	アジア史基礎講読 II	◎		○		
H630-05-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読 I	◎		○		
H630-06-2E-1	ヨーロッパ史基礎講読 II	◎		○		
H630-07-2E-1	民俗学実習 I					◎
H630-08-2E-1	考古学実習 I			○		◎
H630-09-2E-1	ギリシア語初級 I			○	◎	
H630-10-2E-1	ギリシア語初級 II			○	◎	
H630-11-3E-2	日本史の諸問題 I			○	◎	
H630-12-3E-2	日本史の諸問題 II			○	◎	
H630-13-3E-2	アジア史の諸問題 I			○	◎	
H630-14-3E-2	アジア史の諸問題 II			○	◎	
H630-15-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題 I			○	◎	
H630-16-3E-2	ヨーロッパ史の諸問題 II			○	◎	
H630-17-3E-2	考古学の諸問題 I			○	◎	
H630-18-3E-2	考古学の諸問題 II			○	◎	
H630-19-3E-2	民俗学の諸問題 I			○	◎	
H630-20-3E-2	民俗学の諸問題 II			○	◎	
H630-21-3E-2	日本史専門講読 I		◎			○
H630-22-3E-2	日本史専門講読 II		◎			○
H630-23-4E-3	日本史専門講読 III		◎			○
H630-24-3E-2	アジア史専門講読 I		◎			○
H630-25-3E-2	アジア史専門講読 II		◎			○
H630-26-4E-3	アジア史専門講読 III		◎			○
H630-27-3E-2	ヨーロッパ史専門講読 I		◎			○
H630-28-3E-2	ヨーロッパ史専門講読 II		◎			○
H630-29-4E-3	ヨーロッパ史専門講読 III		◎			○
H630-30-3E-2	考古学実習 II			○		◎
H630-31-3E-2	考古学実習 III			○		◎
H630-32-3E-2	民俗学実習 II			○		◎
H630-33-3E-2	民俗学実習 III			○		◎
H630-34-3E-1	ラテン語初級 I	◎				
H630-35-3E-1	ラテン語初級 II	◎				
H630-36-3E-2	ギリシア語中級 I	◎				
H630-37-3E-2	ギリシア語中級 II	◎				
H630-38-4E-3	日本史の諸問題 III			○	◎	
H630-39-4E-3	アジア史の諸問題 III			○	◎	

科目ナンバリング	科目名	学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学における基本的知識、またそれぞれの研究分野に固有の思考方法についての概要を説明することができる	歴史学、考古学、民俗学に関する専門性の高い学術論文を読解するとともに、主体的に史・資料を収集し、それをふまえた柔軟な発想と論理的思考、説得力のある表現を用いて、学術的な文章を作成することができる	歴史学、考古学、民俗学の知識や思考方法をもとに課題を発見し、現代社会が直面するさまざまな問題について、史・資料をふまえた発言や議論、解決方法を提示することができる	現代社会の歴史的な成り立ちをおさえつつ、国際的な広い視野をもって今日の地域社会とそれをめぐる問題について理解し、自らが何をすべきかを考え、社会に貢献することができる	実習や史料調査などの経験を通して、自らの特性を活かしつつ共同作業に対して主体的に関与していく中で、真摯な態度と地道な努力を継続する力を持つとともに、共通の課題に対してチームで成果を出すことができる
H630-40-4E-3	ヨーロッパ史の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-41-4E-3	考古学の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-42-4E-3	民俗学の諸問題Ⅲ			○	◎	
H630-43-4E-2	ラテン語中級Ⅰ	◎		○		
H630-44-4E-2	ラテン語中級Ⅱ	◎		○		
H640-01-1E-1	博物館概論	◎				○
H640-02-2E-2	自然地理学Ⅰ	○				◎
H640-03-2E-2	自然地理学Ⅱ	○				◎
H640-04-2E-2	人文地理学Ⅰ	○				◎
H640-05-2E-2	人文地理学Ⅱ	○				◎
H640-06-2E-2	地誌学Ⅰ	○				◎
H640-07-2E-2	地誌学Ⅱ	○				◎
H640-08-2E-2	日本文学史Ⅰ	○				◎
H640-09-2E-2	日本文学史Ⅱ	○				◎
H640-10-2E-2	海外研究Ⅰ	○				◎
H640-11-2E-2	海外研究Ⅱ	○				◎
H640-12-2E-1	図書館概論	◎				○
H640-13-2E-1	博物館資料論	◎				○
H640-14-3E-2	日本美術史	○				◎
H640-15-3E-2	ヨーロッパ美術史	○				◎
H640-16-3E-2	生活文化史Ⅰ	◎				○
H640-17-3E-2	生活文化史Ⅱ	◎				○
H640-18-3E-2	日本経済史Ⅰ	◎				○
H640-19-3E-2	日本経済史Ⅱ	◎				○
H640-20-3E-2	西洋経済史Ⅰ	◎				○
H640-21-3E-2	西洋経済史Ⅱ	◎				○
H640-22-3E-2	日本法制史Ⅰ	◎				○
H640-23-3E-2	日本法制史Ⅱ	◎				○
H640-24-3E-2	西洋法制史Ⅰ	◎				○
H640-25-3E-2	西洋法制史Ⅱ	◎				○
H640-26-3E-2	日本思想史Ⅰ	◎				○
H640-27-3E-2	日本思想史Ⅱ	◎				○
H640-28-3E-2	図書館情報資源概論	◎				○